

学年	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12)
組	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20)
番号 10位	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (0)
番号 1位	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (0)
氏名	



I 生きて働く知識・技能

1	(1) (2) (3) ● (5) (6)	7	(1) ● (3) (4) (5) (6)	13	(1) (2) (3) (4) (5) ●
2	(1) (2) ● (4) (5) (6)	8	(1) (2) ● (4) (5)	14	(1) ● (3) (4)
3	(1) (2) (3) (4) ●	9	● (2) (3) (4) (5) (6)	15	(1) (2) ● (4) (5) (6)
4	(1) (2) (3) (4) ● (6)	10	(1) (2) (3) ● (5) (6)	16	(1) (2) ● (4)
5	(1) (2) (3) (4) ● (6)	11	(1) (2) ● (4) (5) (6)	17	(1) (2) (3) (4) (5) ●
6	(1) (2) (3) (4) ● (6)	12	(1) (2) (3) (4) (5) ●	18	(1) ● (3) (4) (5) (6)

II 活用・評価する力

1	(1) (2) (3) ●	3	(1) ● (3) (4) (5) (6)	5	(1) (2) (3) ●
2	● (2) (3)	4	(1) ● (3) (4) (5) (6)	6	(1) (2) ● (4) (5) (6)



III ↓ (下の3つは先生がマークしますので、マークしないでください。解答らんはうらにあります)

1	(1) (2) (3) (4)	2	(1) (2) (3) (4)	3	(1) (2) (3) (4)
---	-----------------	---	-----------------	---	-----------------



III-1 平成 27 年度全国学力・学習状況調査 小6 B 1より出題

正答の条件 条件①②を全て満たしているものを正答とする。

条件① 地図には平行四辺形（E F G H）があることが書かれている。

条件② 「向かい合った2組の辺の長さがそれぞれ等しい」という特徴があることが書かれている。

採点基準 条件①②のうち、

- ① 条件を1つも満たしていないが無答ではない。
- ② 条件を1つ満たしている。
- ③ （無し）
- ④ 条件を2つすべて満たしている。
（無答のときはマークしない）

正答例

地図には平行四辺形 E F G H があります。平行四辺形には、向かい合った2組の辺の長さがそれぞれ等しいという特徴があります。

（参考）平成 27 年度全国学力・学習状況調査
解説資料 P.48～53

http://www.nier.go.jp/15chousa/pdf/15kaisetsu_shou_sansuu.pdf

III-2 平成 28 年度全国学力・学習状況調査 小6 B 1より出題

正答の条件 ㊦に条件1を書き、㊩に条件2を書き、
㊵に条件3と4を書いている。

条件1 減った部分の面積が 14 cm^2 であることを示す言葉と式

条件2 増えた部分の面積が 10 cm^2 であることを示す言葉と式

条件3 増えた部分と減った部分の面積の差を求める式と答え

条件4 増えた部分の面積の方が減った部分の面積より小さいことを示す言葉

採点基準

- ① 条件を1つも満たしていないが無答ではない。
- ② 条件を1つ又は2つ満たしている。
- ③ 条件を3つ満たしている。
- ④ 条件を4つすべて満たしている。
（無答の時はマークしない）

正答例

正方形の縦の長さを 2 cm 短くすると、

減った部分の面積は $2 \times 7 = 14$ で、 14 cm^2 です。

続けて、横の長さを 2 cm 長くすると、

増えた部分の面積は $5 \times 2 = 10$ で、 10 cm^2 です。

減った部分と増えた部分を比べると、

$14 - 10 = 4$ で、増えた部分の面積のほうが 4 cm^2 小さいです。

だから、面積は、もとの正方形の面積より 4 cm^2 小さくなります。

（参考）平成 28 年度全国学力・学習状況調査
解説資料 P.48～53

http://www.nier.go.jp/16chousa/pdf/16kaisetsu_shou_sansuu.pdf

正答例

(もとめ方) 例1 条件A Bパターン

容器に米を入れた重さは470gで、容器の重さは150gだから、 $470 - 150 = 320$ で、米の重さは320gになります。水の重さはコメの重さの1.5倍なので、 $320 \times 1.5 = 480$ で、水の重さは480gになります。(答え) 480g

(もとめ方) 例2 条件A C①②パターン

容器に米を入れた重さは470gで、容器の重さは150gだから、 $470 - 150 = 320$ で、米の重さは320gになります。1人分の米の重さは80gなので、 $320 \div 80 = 4$ で、班の人数は4人になります。1人分の水の重さは120gだから、 $120 \times 4 = 480$ で、水の重さは480gになります。(答え) 480g

採点基準

- ① 条件を1つも満たしていないが無答ではない。
- ② 条件A B D 又は条件A C①②D いずれかにおいて、条件を1つ以上満たしている。
- ③ 条件A B D 又は条件A C①②D いずれかにおいて、条件を2つ以上満たしている。
- ④ 条件A B D すべて又は条件A C①②D すべてを満たしている。
(無答のときはマークしない)

正答の条件 条件A B D 又は条件A C①②D を満たしているものを正答とする

条件A 図イの目盛り(470g)と図アの目盛り(150g)から米の重さ(320g)を求める式や言葉が書かれている。

条件B 米の重さ(320g)を1, 5倍して水の重さを求める式や言葉が書かれている。

条件C①米の重さ(320g)を基に、班の人数(4人)を求める式や言葉が書かれている。

条件C②1人分の水の重さ120gを班の人数倍している式や言葉が書かれている。

条件D 必要な水の重さを480gと解答している。

H24 全国学調解説資料 P.68~73

http://www.nier.go.jp/12chousa/12kaisetsu_shou_sansuu.pdf